

炎症並ニ其繼發病	愛憐病	泌尿生殖器病	病器食消		病器吸呼			傷外的械器	傷(病)類	舊患	新患	計	日施療數	治癒	死亡	轉送	事故	后遺
			計	胃腸病	計	肺助膜病	管、氣管、支氣管、咽喉、氣											
一	四	二	一	一	六	二	四	一	四	二	二	一	四	一				
一	四	二	一	一	六	二	四	一	四	二	二	四	一	三				

自明治二十八年十一月一日至空二十九十一月十日所屬員患者表

備考
 一 器械の外傷其他ノ項内ニアル新舊患者ハ共ニ挫傷ナリ
 一 消食器病欄内ニアルハ共ニ胆管加答兒ナリ
 一 痘瘡一名ハ似島避病院へ轉送セリ
 一 表外就業患者二十六名ニシテ其施療日數八百廿二日ナリ

合計	一三	一三	六五	一一														
----	----	----	----	----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

合	計	一九	一九	六三	一五	一	二
---	---	----	----	----	----	---	---

備考

- 一 器械の外傷其他ノ項内ニアルハ共ニ切創ナリ
- 一 助膜炎一名ハ宇品患者集合所へ轉送セリ
- 一 泌尿生殖器病ノ項目ニアルハ腎臟炎ナリ
- 一 表外就業患者五拾六名ニシテ其施療日數ハ三百二十日ナリ

焼却科

一 船舶ヨリ揚陸シ又ハ避病院及停留舎等ヨリ送附シ來ル傳染病屍体并ニ病毒汚染ノ物品ヲ傳票ニ照合シテ之ヲ燒却ニ附ス傳票ニハ屍体ニ在ツテハ官等姓名年齢原籍病名死亡時間物品ハ品目員數見積代價等ヲ詳記セリ燒却作業ニハ人夫ヲ使役シ兵卒ニ監視セシメ業務ノ全般ハ主任官ノ監督ニ属セシム其職員左ノ如シ

監督 陸軍歩兵大尉 中村 定

自明治廿八年十一月一日 屍体燒却員數表
至同廿九年一月十日

月別	十一月中		十二月中		一月中		合計
	避病院	船	避病院	避病院	避病院	避病院	
卒	七	一	三	〇	一	一	一一
軍							
夫	五	二	一	一	九		九
其							
他	一	二	三	二	八		八
計	一三	五	七	三	二八		二八

- 陸軍歩兵上等兵 椎村 梅太郎
- 陸軍歩兵一等卒 稻吉 谷次郎
- 全 木林 幸太郎
- 全 香川 榮藏
- 陸軍歩兵二等卒 山口 幸三郎
- 常用人夫 六名

自明治廿八年十一月一日
至同廿九年一月十日
物品燒却員數表

月別類別	所内物品	患者私物	船舶物品	見積代價
十一月中	五一四点	二四点	二二〇点	四百九拾圓七拾九錢五厘
十二月中	一九七	ク	一一二	百七拾九圓九拾三錢
一月中	四五	ク	ク	三拾七圓六拾四錢
合計	七五六	二四	三三二	七百八圓三拾六錢五厘

備考

本表中所内物品トハ停留舎ニ於テ發病者ニ用ヒタル寢具被服敷物等ナリ、患者私物ハ襯衣服引手拭毛布等ナリ、船舶物品トハ船内客室又ハ隔離室ニ用ヒタル筵ナリ、見積代價ハ檢疫官臨檢ノ際船長立會ニテ價格ヲ定メタルモノニシテ一品毎ニ評價アルモ爰ニハ一ヶ月間ノ燒却高ヲ合算シ記載セシモノナリ

一屍體燒却竈ハ十二個ヲ存スルモ其一個トシテ用ユル所ノモノハ狹小ニシテ櫃ト共ニ燒却スルヲ得ス身体ノミヲ竈内ニ納メ點火スルヲ以テ従前之檢疫業務中ヨリ取扱ニ困難セルガ故ニ今回業務停止中之レニ修理ヲ加ヘテ中央ノ縱隔ヲ除キ之ヲ三箇ノ竈トナシ櫃ト共ニ燒却ニ附スル片ハ作業上ニ頗ル便ナルベシ

以上檢疫業務ニ關スル報告ハ陸軍一等軍醫三浦得一郎ヲシテ擔任起草セシメタリ

明治廿八年五月ヨリ廿九年一月ニ至ル似島臨時陸軍檢疫所經費支出高明細表

名	稱	支	出	金	高	摘	要											
								事務官		書記		雇員		分遣下士卒		馬飼料	住宅料	小計
								增	本	增	本	增	本	增	本			
	事務官		五、六一六	七、二五		内金百九拾壹圓五拾錢ハ手當金 内金百七圓五拾錢ハ手當金												
	事務官		二、九四二	七、二一														
	書記		七、九五七	九、一														
	書記		三、四七二	八、〇														
	雇員		三、八四一	九、三四														
	雇員		一、六一一	八、五三														
	分遣下士卒		三、六六一	二、二八														
	分遣下士卒		一、五九八	三、六九														
	馬飼料		一、八一	九、四														
	住宅料		四、五七	七、一四														
	小計		二〇、八九一	八、〇九														
糧食費			六一、三六六	六、〇八														

分遣下士以下	糧食費	小計	被服費	馬匹費	病傷費	陣具費	雜品費	郵便電信費	運送費	旅費	備給費	築造費	雜件	合計
		一八、五八一	一、三八九	七、二一一	一、七八六	二九、三〇二	一、一五六	二、九九六	一五、二二三	四九、八七五	一、四九四	一五、〇〇六	二三七、八四五	二、一五五
		七九、九四八	一、三八九	七、二一一	一、七八六	二九、三〇二	一、一五六	二、九九六	一五、二二三	四九、八七五	一、四九四	一五、〇〇六	二三七、八四五	二、一五五
		二八四	〇五	九五三	八六〇	二一五三	六九〇	三五三	四三〇	七五六	〇五〇	八四七	一五五	
内金六千七百圓餘ハ水船解船等借入代ナリ														

會計主任 陸軍三等軍吏 久野 先 正

八十八

以下四表ハ八十五頁ノ次ニ挿入スベキモノナリ

明治廿八年十一月 檢疫一覽表

似島臨時陸軍檢疫所

船名	船種	乗組部隊	人員		防疫		消毒		留置	
			檢査	計	同疑似症	腸室扶斯赤	留置	消毒人員	消毒物品	留置人員
空知丸	便乘者	便乘者	1	1						
大和丸	便乘者	便乘者	1	1						
北辰丸	便乘者	便乘者	1	1						
海城丸	便乘者	便乘者	1	1						
横濱丸	便乘者	便乘者	1	1						
柳朝丸	便乘者	便乘者	1	1						
威海丸	便乘者	便乘者	1	1						
龍本丸	便乘者	便乘者	1	1						
中越丸	便乘者	便乘者	1	1						
日ノ出丸	便乘者	便乘者	1	1						
大連丸	便乘者	便乘者	1	1						
南越丸	便乘者	便乘者	1	1						
一ノ木丸	便乘者	便乘者	1	1						
伏木丸	便乘者	便乘者	1	1						
神州丸	便乘者	便乘者	1	1						
鹿島丸	便乘者	便乘者	1	1						
大洋丸	便乘者	便乘者	1	1						
越後丸	便乘者	便乘者	1	1						
河津丸	便乘者	便乘者	1	1						
肥後丸	便乘者	便乘者	1	1						
土佐丸	便乘者	便乘者	1	1						
和泉丸	便乘者	便乘者	1	1						
佐賀丸	便乘者	便乘者	1	1						
佐倉丸	便乘者	便乘者	1	1						
山口丸	便乘者	便乘者	1	1						
新發丸	便乘者	便乘者	1	1						
松山丸	便乘者	便乘者	1	1						
名古屋丸	便乘者	便乘者	1	1						
和歌丸	便乘者	便乘者	1	1						
小樽丸	便乘者	便乘者	1	1						
尾張丸	便乘者	便乘者	1	1						
志賀丸	便乘者	便乘者	1	1						
姫路丸	便乘者	便乘者	1	1						
小倉丸	便乘者	便乘者	1	1						
彦山丸	便乘者	便乘者	1	1						
朝飯丸	便乘者	便乘者	1	1						
參河丸	便乘者	便乘者	1	1						
親潮丸	便乘者	便乘者	1	1						
威海丸	便乘者	便乘者	1	1						
空知丸	便乘者	便乘者	1	1						
宗谷丸	便乘者	便乘者	1	1						
兵庫丸	便乘者	便乘者	1	1						
酒田丸	便乘者	便乘者	1	1						
神戶丸	便乘者	便乘者	1	1						
仁川丸	便乘者	便乘者	1	1						
日ノ丸	便乘者	便乘者	1	1						
金州丸	便乘者	便乘者	1	1						
愛蘭丸	便乘者	便乘者	1	1						
京都丸	便乘者	便乘者	1	1						
盛岡丸	便乘者	便乘者	1	1						
津江丸	便乘者	便乘者	1	1						
津紫丸	便乘者	便乘者	1	1						
天津丸	便乘者	便乘者	1	1						
佳ノ丸	便乘者	便乘者	1	1						
高砂丸	便乘者	便乘者	1	1						
根國丸	便乘者	便乘者	1	1						
釜山丸	便乘者	便乘者	1	1						

備考
 一 本表中檢疫人員ヨリ消毒人員ノ抄キハ全然無サト認メタル船乗込人ハ消毒ヲ施行セザルニ由ルナリ
 一 船舶消毒拾六袋ニ費消タル薬量ハ石炭酸一四一七五〇瓦生石灰三四五六〇ニ比面徹菌検査ニ因テ飲水タンク及ピルル腔ノ消毒ニ費消
 一 七〇薬量ハ石炭酸一六七五二瓦生石灰一四四〇〇ニ比硫酸四二七瓦ナリ
 一 燒却ニ付タルハ屍体五個並ニ病非汚染ノ物品即チ被服類貳拾貳点毛巾五枚雜敷物類貳拾六枚ニ此見積代價六拾圓七拾參錢五厘ナリ

明治廿八年十二月 檢疫一覽表

似島臨時陸軍檢疫所

Table with columns for ship names (e.g., 榮城丸, 有明丸), passenger counts, and inspection status. Includes a grid for recording health and inspection details for various vessels.

備考

一本表中檢疫人員ヨリ消毒人員ノ少キハ全然無キト認メタル船舶乗込人ハ消毒ヲ施行セサルニ由ルナリ
一船舶消毒費ニ費消シタル薬量ハ石炭酸四九〇〇〇〇死ナリ
一焼却ニ附シタル病者汚染ノ雜物等百拾貳枚ニ此見積代價拾七圓參拾五錢ナリ

自明治廿八年十一月十一日似島臨時陸軍檢疫所避病院報告
至同廿九年一月十一日

目次

- 一 病院沿革及事務一般
- 二 治病記事
- 三 附屬表記事

第二 似島臨時陸軍檢疫所避病院報告

自明治廿八年十一月一日
至全 廿九年一月十日

病院沿革及事務一般

明治二十八年十一月一日敕令第四百四十六号ニ依リ臨時陸軍檢疫部ヨリ似島臨時陸軍檢疫所避病院ニ於ケル建物并諸材料悉皆ト殘留患者四十八名及十月卅一日現在ノ職員トシテ第五師團司令部ニ引繼キ院務ヲ繼行シ舊名ヲ襲用シテ尙似島臨時陸軍檢疫所避病院ト稱シ似島臨時陸軍檢疫所長ニ隸屬ス

其ノ十月三十一日現在職員ニシテ引續キ院務ニ從事セシモノ左ノ如シ

- | | | |
|-----|-----------|-------|
| 病院長 | 陸軍二等軍醫正 | 武谷水城 |
| | 陸軍二等軍醫 | 野口詮太郎 |
| | 陸軍三等軍醫 | 食野四郎 |
| | 陸軍三等藥劑官 | 松村勘一郎 |
| | 陸軍一等書記 | 高山孫太郎 |
| | 后備陸軍二等看護長 | 吉田周輔 |
| 全 | 三等看護長 | 荒井一作 |

全	滿田完三郎
雇員	醫師
全	合田壽治
全	積山誠吉
全	岩砂元一郎
全	宇津見房吉
全	小倉知秀
全	藥劑師
全	吉松義吉
全	殿村留吉
全	岩山幸太郎
全	會計員
全	多田傳
看病人	三拾七名
給仕	貳名
小使	五名
人夫	拾名

洗濯人 二名
 斬髮人 一名

明治廿八年十一月一日病院長陸軍二等軍醫正武谷水城似島臨時陸軍檢疫所長ヲ命
 セラレ尙病院長ヲ兼勤ス

十一月二日病院付陸軍二等軍醫野口詮太郎當檢疫所船舶檢査科附ニ轉シ尙病院附
 兼勤ヲ命セラル

十一月三日臨時備丸茂種吉病院附ヲ命セラレ會計事務ニ服ス

十一月七日病院附陸軍一等書記葛山孫太郎當檢疫所附兼勤ヲ命セラレ雇員岩砂元
 一郎病院附ヲ免シ同檢疫所附ヲ命セラル

十一月十一日黴菌檢査ニ使役ノ目的ヲ以テ看病人四名廣島陸軍豫備病院附ヲ免シ
 當院付ヲ命セラル

十一月二十五日后備陸軍二等看護長三浦正壽全兒玉庄太郎廣島陸軍豫備病院附ヲ
 免シ本院附ヲ命セラレ看病人二十名廣島陸軍豫備病院附ヲ免シ當院附ヲ命セラル

十一月二十六日后備陸軍三等看護長荒川一作ニ原所管第二師團へ看病人八名ヲ第

一師團へ四名ヲ第三師團へ七名ヲ第四師團へ各復版セシム
十一月二十六日第五師團司令部附陸軍一等軍醫飯沼徳造當院附ヲ命セラル同日人
夫十名ヲ増備シテ總員ヲ二十名トナス
十一月二十八日陸軍二等軍醫野口詮太郎當院附兼勤ヲ免セラル
十二月一日看病人五名ヲ第一師團へ四名ヲ第三師團へ四名ヲ第四師團へ各復版セ
シム
十二月二日看病人二名當院付ヲ免シ當院檢疫所停留舎附ヲ命セラル看病人一名雇看
病人一名當院檢疫所停留舎附ヲ免シ當院附命セラル
十二月三日后備陸軍二等看護長吉田周輔原所管第二師團へ復版ヲ命セラル
十二月七日常用人夫八名ヲ解備シ總員ヲ拾貳名トナス
十二月九日看病人二名ヲ第一師團へ三名ヲ第四師團へ各復版セシム
十二月十日陸軍三等軍醫食野四郎本月七日附ヲ以テ學生トシ陸軍々醫學校ニ派遣
ヲ命セラル翌十一日出發
十二月十八日陸軍省雇員合田壽治小倉知秀積山誠吉東京へ復歸ヲ命セラル翌十九

日出發

十二月十九日陸軍省雇員岩山幸太郎本月十四日附ヲ以テ雇員ヲ免セラル
十二月廿八日后備陸軍二等看護長三浦正壽本院附ヲ免シ廣島陸軍豫備病院附ヲ命
セラル豫備陸軍三等看護長川田虎藏廣島陸軍豫備病院附ヲ免シ當院附ヲ命セラル
明治二十九年一月七日陸軍省雇員宇津見房吉東京へ復歸ヲ命セラル全吉松義吉解
雇セラレ當院檢疫所附雇員岩砂元一郎當院附兼勤ヲ命セラル
一月十日看病人八名當院附ヲ免シ廣島陸軍豫備病院附ヲ命セラル全八名廣島陸軍
豫備病院附ヲ免シ當院附命セラル
一月十日送乙第一〇号ヲ以テ當院檢疫所事務停止ヲ達セラレシヲ以テ翌十一日現在
患者十一名ヲ宇品患者集合所ニ轉送シ院務ヲ停止ス
院内ノ區別及事務等ハ盡ク臨時陸軍檢疫部ノ時ニ實行セシ例ヲ襲用シ毫モ變更
セザルヲ以テ其景況前病院ニ異ナラス其他衛生上ニ關スル諸景況モ亦廿八年十
月卅一日臨時陸軍檢疫部官制廢止ノ際報告セシモノト異ナル所ナキヲ以テ一切
之ヲ省略シ只在ニ治病記事ヲ載セ別ニ統計表八種ヲ添へ以テ今回ノ報告ヲ結フ

治病記事

明治二十八年十一月一日臨時陸軍檢疫部官制廢止ト同時ニ當院ニ引續キタル患者
總員四十八名(内虎列刺七、全疑似症七、腸窒扶斯五、赤痢二九)ト其後新ニ收容セシモノ
九十七名(虎列刺一四、疑似症一、腸窒扶私四四、赤痢三一、痘瘡六)トテ合シテ明治廿九年
一月十一日當院事務停止ニ至ル迄ノ間治療セシ患者總員百四十五名ニシテ病症ニ
依リ之ヲ區別スレハ虎列刺總員二十一名全疑似症全九名腸窒扶斯全四十九名赤痢
全六十名痘瘡全六名ナリ而シテ此期ニ於ケル新入患者ハ臺灣ヨリ歸航セシ者ヲ以テ
最多トシ其ノ他ノ地方ヨリ來リシモノハ頗ル稀ナリ又其患者ハ乘船前既ニ病ニ罹
リ稍輕快ニ趣キ航送セラレシモノ多ク航海中發病シタルモノ之ニ次キ上陸停留中
ニ發病シタルモノハ僅ニ三名ノミ各病ノ症狀及經過等ヲ左ニ各別シテ摘記スルト
雖モ初發症狀ハ多クハ歸航前ニ顯レタルモノニシテ目撃スルコト克ハザリシテ以テ
專テ病床日誌ニ依リテ之ヲ補ヘリ

虎列刺及ヒ虎列拉疑似症

明治二十八年十月卅一日臨時陸軍檢疫部官制廢止ト同時ニ本院ニ引續キタルモノ

十四人船舶ヨリ直チニ本院ニ收容セシモノ十五人其他一人ハ當所分遣兵ニシテ疑
似症ヲ以テ入院セシ者ナリ以上總計三十人中十人ハ既ニ臺灣ニ於テ發病シ恢復期
ニ至リ后送セラレタルモノ其他十九人ハ歸航船中ニ於テ發病シタルモノナリ是テ
以テ之ヲ觀レハ本症患者ハ殆ント全ク台灣ヨリ歸航シタル者ノミナルコト知ル可
シ而シテ歸航中最モ多ク發病シタルハ大連丸及ヒ姫路丸(各四人)ニシテ次テ新發田
丸及ヒ高砂丸等ナリ

之ヲ病症ニ由リ區別スレハ虎列拉病二十一人同疑似症九人ナリ乙ハ其症狀ノ不完
全ニ直ニ虎列拉ノ名稱ヲ付シ能ハサルモノ及症狀略備ルモ數回ノ鏡檢ニコムマ
菌ヲ檢出スル能ハサルモノ等ニシテ左ニ其一般症狀ヲ摘記ス可シ
(症狀及經過)潜伏期ハ詳細ヲ知ルコト能ハスト雖モ長キモ三四日ニシテ之ヲ超過スル
コト殆ント稀ナルカ如シ

前驅症狀ハ急性腸胃加答兒ノ症狀ヲ以テ發シ食慾不振全身違和倦怠頭痛惡心嘔吐
等ヲ始メ舌ニ白苔ヲ被リ次テ一日二三回ノ下痢ヲ發スルニ至ル然レモ時トシテ急ニ
惡心嘔吐劇シキ下痢等ヲ發シ漸次固有症狀ヲ呈シタルモノアリト雖モ如此キハ多

重症患者於於初始之緩慢ニ來リ后嘔吐劇シキ症狀ヲ發スルモノアリ或ハ稀ニ最
 初ニ劇甚ナル下痢嘔吐ヲ發シ同時ニ惡寒倦怠顔貌憔悴鼻尖銳利トテ眼窩陷沒
 シ聲音嘎嚙ト煩喝胃部苦悶及ヒ排腸筋ニ痙攣性疼痛ヲ訴ヘ嘔吐下痢愈々劇シク尿
 利全ク遏止シ脈ハ微細且頻頻ノ口唇及指尖等ニ藍紫色ヲ呈シ精神稍鈍麻シ急ニ
 虛脱ニ陥ル下ヲ此際体温著シク下降シ甚キハ三十五度ニ達シ終ニ鬼籍ニ上リ
 タルモノアリ或ハ時々以上症狀ヲ呈シ漸次反應期ニ移行シ一時精神爽快ヲ覺フ
 ルモ再ヒ飲冷期ニ陥リ翌日然レモ再々之ヲ一入ニシテ之ヲ一入ニシテ之ヲ一入
 輕症患者ニ於テハ始メ全身違和食慾不振ヲ訴ヘ一二日ヲ經過シ嘔吐下痢ヲ來シ脈
 搏微細体温下降シ嘔吐覺ヘ漸次下痢嘔吐ヲ減シ良經過ヲ取リタルモノ尠ナカズ
 ト雖也症狀急ニ一變シ不良轉歸ヲ取リタルモノアリ
 今更ニ左ニ系統的ニ主ナル症狀ヲ概略ヲ摘記ス可シ
 下痢ハ無痛性ニシテ多ク米泔汁様又ハ水様ニシテ其色黃色ナルアリ或ハ褐色ナルア
 リ稀ニ裡急后重ニ伴ヒ少量ノ血液及ヒ粘液ヲ混シタルモノアリ而シテ漸次其數ヲ增

加シ一日多キハ十四回ニ達シタルモノアリ然レモ其量ハ比較的ニ少シ而シテ下痢ヲ持
 續シタル最長日ハ四十餘日ニ涉リタルモノアリ
 嘔吐ハ始メ多クハ食物片ニシテ黄色水様或ハ褐色或ハ膽汁色ヲ帶ヒ一日多キハ
 六七回少キハ一二回ニシテ屢々嘔氣ヲ催スモ稀ニ一二ノ患者ニ於テハ初メヨリ更ニ
 嘔吐ヲ來サザルモノアリ而シテ最モ長ク持續シタル患者ニ於テハ一週間ニ達シタル
 モノアリ
 脈搏ハ微弱ナレモ始メ攪骨動脈ニ於テ能ク觸知スルヲ得ルモノ仮死期ニ陥リタル
 モノハ心動及ヒ脈搏共ニ不正幽微ニシテ恰モ糸ノ如ク時ニ欠滯シ遂ニ觸知スルコ
 能ハザルニ至ル
 体温ハ重症虎列拉ノ初期ニ於テハ稀ニ上昇スルモ多クハ三十七度以下ニシテ漸次
 反應期ニ移行シ急ニ上昇スルモノ仮死期ニ至レハ更ニ下降ス
 神經障害ニ於テハ始メ僅ニ頭重頭痛ヲ訴フルヲミナルモ甚シキニ至テハ所謂虎列
 拉「チホイド」ニ陥リ精神朦朧時ニ譫語大聲ヲ發シ或ハ嗜眠シ或ハ躁狂狀ヲ呈シタル
 モノアリ

皮膚及ヒ筋ニ於テハ發病後一週ノ后腹部皮膚ニ於テ發疹シタルモノ一名アリ此際熱僅ニ上昇ス(疹ノ形狀ハ日誌ノ記載粗ニノ不明ナリ)其他四肢殊ニ排腸筋及ヒ咀嚼筋ニ持續性痙攣ヲ發シ同時ニ疼痛ヲ訴ヘ全身一般ニ缺冷シ皮膚ハ彈力ヲ失ヒ容易ニ原形ニ復セズ

呼吸器ニ於テハ極期ニ於テ深呼吸ヲ營ミ仮死期ニ近クニ隨ヒ淺表且ツ不正トナル其他一二ノ患者ニ於テハ少量ノ咳嗽痰ヲ發シ小水泡音ヲ聽取シタルモノアリ

視器、病ノ初期ニモ係ハラズ既ニ著シク眼窩陷沒シ常ニ眼瞼ヲ開展シ眼球ハ多ク舉上ノ位置ニ止マレリ

聲音ハ全患者殆ント全ク嘎嘶シ仮令之ヲ來ササル患者ト雖トモ音調多クハ變易セリ其他時トモ甚シキ吃逆ヲ發シ頑固ナルモノニ於テハ五日間持續シタルモノアリ

腹部ハ初期ニ於テ僅ニ膨滿シ知覺過敏時々雷鳴アリ末期ニ至レハ著シク陷沒シ且ツ腹筋攣縮メテ板狀ヲ呈スルモノ甚カヲサルカ如シ

全經過ノ最モ長キハ三十三日ニシテ短カキハ六日間ヲ經過シ平均約十六日トス

(合併症)中最モ多キハ脚氣(七人)ナルモ之カ爲ニ斃レタルモノナシ次ハ麻拉里亞

熱(三人)心臟辨膜病(一人)等ナリ

(轉歸)三十人中八名ハ多クハ缺冷期ニ於テ心臟麻痺ニ由リ斃レ二十一人ハ恢復期ニ至リ字品患者集合所へ轉送シ其他一人ハ當所分遣兵ニシテ同シク恢復期ニ至リタルヲ以テ患者休養室ニ送レリ

(治法)ハ病ノ輕重及ヒ時期ニ隨ヒ一定セズト雖モ初期ニ於テハ專ラ甘汞ヲ使用セリ或ハ之ト同時ニ次硝酸砒ヲ伍用シタル事アリ

對症的療法トシテ煩喝甚シキモノニハ鹽酸里母那徑ニ酒精劑ヲ加ヘ或ハ微温湯葛粉汁等ヲ投セリ其他斷ヘス脉性ニ注意シ不良ナルルハ樟腦阿列布油ノ皮下注射ヲ施セリ而シテ樟腦劑ハ最初ヨリ其少量ヲ持長シ又武蘭徑赤酒等ヲ使用セリ

嘔吐頑固ナルモノニハ古加乙滷ヲ内用シ胃部ニ氷嚢ヲ貼シ尙ホ持續スルルハ牛乳雞卵等ノ滋養洗腸ヲ試ミシモ其効ナキカ如シ

筋痙攣及ヒ胃部苦悶ニハ芥子泥ヲ貼用シ時トモハ細心注意シテ莫兒比涅ノ皮下注射ヲ施セリ又必要ナルハ身体ノ保温ニシテ常ニ湯婆ヲ與ヘ或ハ腹部ニ巴布ヲ貼用シ時トモハ温浴法ヲ施セリ

其他食盪水皮下注入法ハ四人ニ試用シ多キハ五日間ニシテ十回ニ達シタルモノアリ而ノ稀ニハ脉搏心動頗ル幽微トナリ体温著シク下降セシモノモ大ニ興奮シ挽回ノ狀アリテ再ヒ虚脱ニ陥リシモノアリ之ヲ要スルニ治驗日尙ホ淺クシテ其効否チ知ルコト能ハス食品トシテハ牛乳雞卵肉羹汁等ノ流動性食物ヲ與ヘ病ノ輕減スルニ隨ヒ漸次其量ヲ増加シ且ツ粥食ヲ給シ適宜ノ室外散步ヲナサシメタリ

腸窒扶斯

本症患者ハ總計四十九人ニシテ内臨時陸軍檢疫部ヨリ引續キタル者五名十一月一日ヨリ廿九年一月十一日ニ至ルマテ上陸停留中發病者三名戰地及ヒ航海中發病者四拾一名ニシテ其丙者ハ臺灣ニ於テ發病シテ治療ヲ受ケ稍輕快ニ趣キ後送セラレタルモノ多キニ居リ時トノ凱旋航海中ニ罹リタル者ヲ混スルナリ而シテ航海中全身違和食機不振頭重頭痛惡寒等ノ症狀ヲ呈シ腸窒扶斯疑似症ヲ以テ本院ニ収容セシモ治療數日ニ涉リ始メテ一種不整ノ麻刺里亞熱ナルコトヲ發見シタルモノアリ本症患者中眞性腸窒扶斯ハ僅ニ拾六名ニシテ他ハ不全腸窒扶斯(麻刺里亞合併症)ナリ

(症狀及ヒ經過) 上記ノ如ク本症患者ハ多ク戰地若クハ歸航中ノ發病者ニシテ病床日誌ノ記載粗漏ナルカ爲メ其詳細ヲ知ルニ由ナシト雖モ概シテ前驅期ハ短カキハ一日ニシテ長キハ一週ニ涉ルモノアリ而シテ其ノ病症ハ概シテ全身違和疲勞倦怠食慾不振不眠頭重頭痛等ヲ以テ始マリ漸次惡寒ヲ發スルヲ例トスト雖モ之ヲ細別スルニ不全腸窒扶斯(麻刺里亞合併症)ニ於テハ屢々劇シキ戰慄ヲ以テ始マリ眞性腸窒扶斯ニ於テハ只惡寒熱發ヲ以テ始マリ多クハ食慾不振劇シキ頭痛煩囑顔面潮紅四肢倦怠ヲ伴ヘリ

脉搏ハ病ノ熾勢期ニ於テ最モ多キハ一分間百四十至ヲ算シタルモノアルモ概シテ其數少ナクシテ多ク百至内外ナリ而シテ熱ノ下降ニ伴ヒ漸次其數ヲ減セリ

熱ハ完全腸窒扶斯ニ於テハ多ク稽留性ニシテ最モ高キハ四十一度一分ニ達シタルモノアルモ概シテ四十度内外ヲ昇降シ有熱日數ノ最モ長キハ三十八日ニ涉リ漸次下降スト雖モ不全腸窒扶斯(麻刺里亞合併症)ニ於テハ不正ノ弛張熱ヲ呈シ甚シキハ午前ト午後ニ於テ其差三度八分ナルモノアルニ至リ頓ニ解熱スルヲ多シトス

掻癢疹ハ完全ノ腸窒扶斯十六名中僅ニ四名ニ發生シタルノミニシテ之ヲ發生時期

ニ依リ區別スレハ第二週ニ三人第一週ニ一人ナリ而シテ其發生部位ノ最モ多キハ胸部ニシテ次テ腹部上膊及ヒ大腿等ナリ
 脾腫ヲ認メタルモノハ四十九人中十八人ニシテ多クハ打診ニ依リ發見シ觸診シ得タルモノハ只其二三ニ止マレリ而シテ最モ早ク認メタルモノハ發病後第六日目トス
 消化器系統ニ於テハ患者煩喝引飲口内ハ一般ニ乾燥シ口唇ニ皸裂ヲ生シ往々出血ス舌縁及ヒ舌尖ノ乳頭腫起發赤シ舌背ハ灰白色ノ苔ヲ以テ被ハレ病勢漸次進ムニ隨ヒ煤色苔ヲ生シ挺出ノ際舌振顫シ甚シキハ運動全ク困難ニシテ不斷舌挺出ノ位置ニ止マリタルモノアリ便通ハ第一週中ハ概シテ秘結シ第二週ヨリ第三週ニ掛ケ一日多キハ五六回少ナキハ二三回ノ帶綠黃色ノ下痢ヲ來シ漸次病ノ恢復ニ伴ヒ再ヒ秘結スルモノ多シ而シテ下痢ノ最モ長ク持續シタルハ三週間以上ニ涉レリ
 腹部ハ既ニ第一週ノ終リニ於テ膨滿シ知覺過敏ヲ呈シ第二週或ハ時トシテ第三週ニ於テ雷鳴盲腸部臍部等ニ壓痛ヲ訴ヘ甚シキハ腹部觸診ヲ嫌厭スルモノアリ而シテ病ノ末期ニ至リ腹部著シク陷沒スルモノ多シ茲ニ甚タ幸福ナリシハ本症ニ最モ

危險ナル腸出血ノ一人モナカリシ一事ナリ

神經症狀ハ初期ニ於テハ頭重頭痛耳鳴重聽ヲ訴ヘ漸次病勢ノ進ムニ隨ヒ精神朦朧トシテ譫語ヲ發シ或ハ歌ヒ或ハ吟シ幻覺ヲ感シ病褥ヲ離レ窓戶ヲ開キ逃走ヲ企テ終ニ昏睡ニ陥リタルモノアリ如斯發揚性ノモノハ僅ニ一名ニシテ他ハ概シテ精神沈鬱嗜眠等ヲ來シ病ノ快復ニ伴ヒ精神漸次確實トナレリ而シテ本症ノ完全不全ヲ間ハス更ニ神經症狀ヲ呈セザリシハ殆ンド全クナカリキ

(合併症及繼發症)患者四十九人中最モ多キハ脚氣(五人)ニシテ次ハ肺炎及ヒ氣管支加答兒(各三人)次ハ筋及ヒ關節僵廣質斯(二人)次ハ心辨膜病(一人)及耳下腺炎(二人)ナリ

(轉歸)四十九人中病勢緩解後衰弱ニ由リ死亡四人脚氣衝心ノ爲メ死亡一人恢復期ニシテ宇品患者集合所ニ轉送セシモノ四十一人治癒轉送三人ナリ

(治療)頓挫ノ目的ニテ最初多量ノ甘汞ヲ服用セシメ奏効セサルトキハ尙ホ之ヲ反覆シ或ハ比麻子油ヲ用ヒ良効ヲ奏シタルヲアリ
 其他ハ只々對症的療法ニ止マリ喝甚タシキモノハ鹽酸里母那埜ニ少量ノ阿爾簡保

爾劑ヲ伍用シ豫テ口内炎豫防トシテ硼酸水或ハ鹽酸加里水ヲ以テ一日數回含嗽セシメ頭痛劇シキモノニハ頭部ニ水卷法ヲ施シ心臟衰弱ノ徵アルモノニハ樟腦劑ノ内服或ハ樟腦阿列布油ノ皮下注射ヲ施セリ而シテ熱ノ四十度以上ニ達シタルモノ殊ニ劇シキ氣管支加答兒ヲ發シタル場合ニ於テ胸部水卷法ヲ施シ能ク其効ヲ奏シ且ツ一度内外ノ熱ヲ下降セシメタリ其他下痢甚シキモノニ向テハ次硝酸蒼鉛ヲ持長シ末期ニ至リ便秘スルモノニハ單ニ微温湯或ハ石鹼水ヲ浣腸シ便通ヲ促セリ合併症殊ニ脚氣ニ於テハ醋酸加里硝酸加里蕃木髓越幾私商陸越幾私等ヲ用ヒ重症患者ニ對シテハ實斐多利私及樟腦劑ヲ與ヘ不斷心臟部ニ水卷法ヲ施セリ肺炎ニ對シテハ吐根浸杏仁水礮砂加苗香精等ヲ投シ幸ニ良効ヲ収メタリ其他不全腸窒扶私(麻刺里亞合併症)ニシテ熱發作アルモノハ規尼涅劑ヲ投シ奏効確實ナリト雖モ數日ニシテ再ヒ熱ノ昇騰スルコトアリ其他一般ニ攝生法ニ注意シ食餌ハ牛乳雞卵肉羹汁粥汁等ノ流動性食物ヲ與ヘ室内空氣ノ交換ヲ良ナラシメ漸次輕快ニ趣クニ隨ヒ適宜ニ運動セシメタリ

赤痢

本症患者ハ總計六十名ニシテ内臨時陸軍檢疫部ヨリ引續キタル者二十九名上陸停留中發病シタル者一名戰地若クハ凱旋歸航中發病シタル者二十七名其他一名ハ當避病院附看病人ナリ而シテ本症患者ハ多ク戰地ニ於テ既ニ脚氣又ハ麻刺里亞熱ニ罹リ一時治癒シタルモノ或ハ是等ノ疾病ヲ合併シタル者尠ナカラス蓋シ本症患者ハ多クハ臺灣ヨリ歸航シタル者ナレハナリ

(症候及經過)本症患者ハ多ク戰地ニ於テ病ニ罹リ後送セラレタル者多キヲ以テ偕伏期ヲ知ルコト特ニ困難ナリ

前驅症狀ハ主トシテ腸胃加答兒ノ症狀ヲ呈シ全身違和食慾不振等ヲ來シ始メ多クハ二三回ノ水様下痢ヲ發ス或ハ時トシテ急ニ惡寒ヲ以テ始マリ腹部雷鳴水様下痢ヲ來シ次テ裡急后重ニ伴ヒ泡沫ヲ混シタル少量ノ粘液血便ヲ排泄シ初期ニアリテハ一日二三回ヨリ六七回ニ至ル此ノ際多クハ左腸骨窩ニ輕微ノ壓痛アリ漸次病勢ノ進ムニ隨ヒ口内乾燥シ舌ニ白苔ヲ被ムリ食慾不振惡心嘔吐或ハ時トシテ吃逆ヲ發シ上脘頻々裡急后重甚シク一日最モ多キハ三十回以上ニ達シタルモ其便ハ甚ダ少量ナリ如此場合ニ於テハ血液ハ能ク糞便ト混和シ恰モ「マルコ」狀ヲ呈シ一種腐敗